

第116期中間報告書

(2019年4月1日～2019年9月30日)

堀田丸正株式会社

証券コード：8105

ごあいさつ



代表取締役社長 **大西雅美**

投資家の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響や、中国経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響など、依然として不透明な状態が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、コア事業である意匠燃糸事業へ継続的に経営資源を集中すると同時に、前期までに和装・寝装事業では、事業所の統廃合、洋装事業では、販売員契約の見直しなど様々なコスト削減を実施したことに加えて、収益性低下による棚卸資産の評価損や不採算ブランド事業を廃止することによる特別損失を計上するなど抜本的な構造改革により、当期以降の成長戦略推進のための基盤づくりを行いました。加えて、収益性向上のために新規取引先開拓を行い、また、在庫効率向上のために取引先納品形態の見直しや在庫額の適正化など、様々な取り組みを行いました。

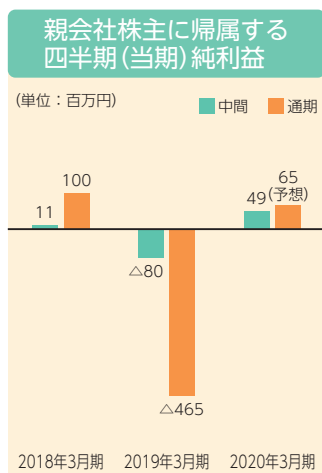
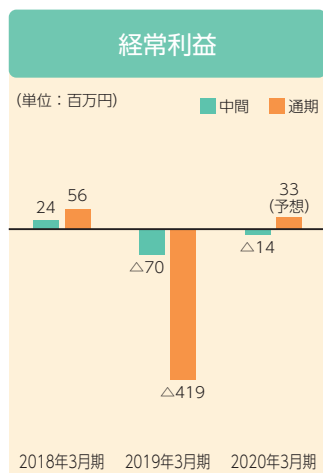
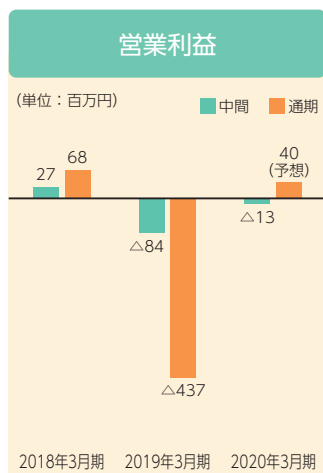
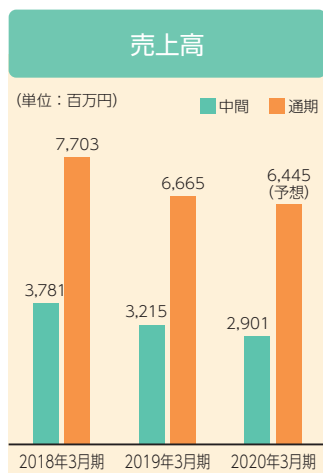
これらの結果、売上高29億1百万円（前年同四半期比9.8%減）、営業損失は13百万円（前年同四半期は営業損失84百万円）、経常損失は14百万円（前年同四半期は経常損失70百万円）、また、当社が出資を行っていた協同組合が6月に清算決了を決議したことに伴い、残余財産の分配が行われ、特別利益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失80百万円）となりました。

このような状況のもとにあって当社グループは、「意匠燃糸事業の海外展開の強化」「洋装事業の飛躍的な収益改善」「事業領域の拡大」「事業ポートフォリオの再編」を推進することにより、経営基盤の更なる安定に向けて鋭意努力してまいります。

投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

業績ハイライト



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 2019年9月30日	前連結会計 年度末 2019年3月31日
流動資産	5,182	5,442
固定資産	262	279
資産合計	5,444	5,722
流動負債	1,117	1,430
固定負債	48	50
負債合計	1,165	1,481
純資産合計	4,279	4,241
負債・純資産合計	5,444	5,722

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	69	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36	93
現金及び現金同等物の期首残高	2,409	2,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,372	2,170

セグメント情報

意匠燃糸事業

売上高 **866** 百万円

セグメント別
売上高比率 **29.9** %



意匠燃糸事業は、国内事業が売上増加となりましたが、海外事業が日本向けの受注増の反面、中国内販向け及び欧州向けが受注減となりました。また、

OEM事業は国内アパレルからの大幅受注減により、売上減少となりました。この結果、売上高8億66百万円(前年同四半期比11.1%減)、営業利益は44百万円(前年同四半期比15.4%減)となりました。

和装事業

売上高 **644** 百万円

セグメント別
売上高比率 **22.2** %



和装事業は、リサイクル企画催事が新たな販売機会を創出しましたが、百貨店取引の減少と、連結子会社(株)吉利における大手量販店との取引見直しなどにより売上減少となりました。しかしながら、前期まで進めてまいりました構造改革により、利益創出の基盤が確立されました。この結果、売上高6億44百万円(前年同四半期比14.0%減)、営業利益は9百万円(前年同四半期比8.4%増)となりました。

洋装事業

売上高 **1,117** 百万円

セグメント別
売上高比率 **38.5** %



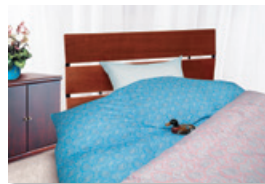
洋装事業は、馬里邑事業は専門店取引が伸長しましたが、百貨店取引は百貨店施策による店舗撤退の影響を受け売上は減少しました。しかしながら、百貨店既存取引先の売上は順調に推移したことに加え、前期における抜本的な構造改革の結果、粗利率が改善し、販売員体制の見直しにより固定費も削減されたことで大幅な利益改善となりました。アパレル事業におき

ましては、西日本の百貨店における人材投入型の催事事業が引き続き拡大をいたしました。九州を拠点とする丸福事業は、ホームファッション事業が堅調な推移をするものの百貨店・専門店卸は苦戦し、ベビー・子供服事業は受注減少の影響を受け、売上高は減少しました。この結果、売上高11億17百万円(前年同四半期比8.5%減)、営業利益は30百万円(前年同四半期は営業損失53百万円)となりました。

寝装事業

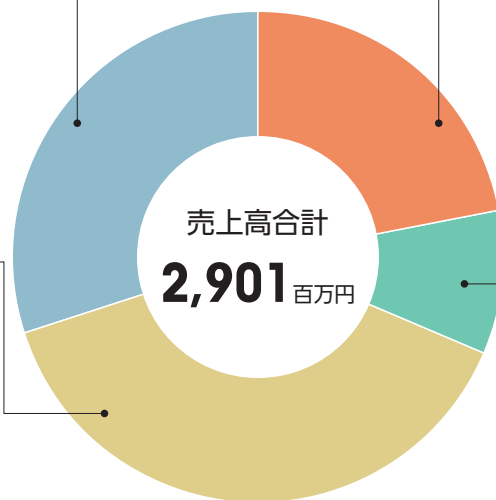
売上高 **273** 百万円

セグメント別
売上高比率 **9.4** %



寝装事業は、マットレス事業が量販・専門店取引は売上減少傾向でしたが、通販取引先への商品供給が順調に推移したことに加え、

東北地区におけるギフト事業が復調しました。この結果、売上高2億73百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益は16百万円(前年同四半期比16.2%増)となりました。



トピックス

当社グループ堀田(上海)貿易有限公司 「第34回スピンエキスポ上海」に出展

2019年9月3日～5日、堀田(上海)貿易有限公司は世界的な糸の展示会である「第34回スピンエキスポ上海」(上海世博覧覧会で開催)に出展いたしました。

当社は第1回より連続出展しており、世界13か国より過去最多の229社が出展し、54か国10,580人の来場客がありました。中国を中心に日本、韓国、南アメリカ、バングラデシュからの来場客が増加しました。今回のキーワードは、環境への関心の高まりから「eco」「sustainable」「recycled」「機能性」「easy care」などが重要な指標となっています。

当社の提案は、2020年秋冬素材の合繊ストレッチ素材やキュプラ・テンセル混などの環境配慮型素材を中心に行いました。また春夏素材も展示し、再生ポリエステル混、オーガニック、リサイクルコットン、和紙素材に関心が集まり、今後の当社の開発の重要なテーマとなりました。

中国ブランド市場は、MADE IN JAPANの繊細なハイゲージのストレッチやファンシー素材に人気があり、当社製品の魅力を伝えることが出来ました。



洋装事業の「百貨店催事企画」の展開

当社の洋装事業は、アパレル事業部において、2017年12月より開始した「百貨店催事企画」を、西日本を拠点とする百貨店(阪急阪神百貨店7店舗、ほか地方百貨店、広島福屋・須磨大丸・下関大丸などの常設店)にて、年間を通じて展開いたしました。

月に1週間の日程で7～10か所で展開し、洋装事業の売上に大きく貢献いたしました。この9月開催の広島福屋90周年の特別催事には、顧客様宛にDM5,000通を送り、ノベルティと記念の冠の効果で好評を博しました結果、予算達成につながりました。

今後は、①売上効率の一層の向上、②JR隣接の大手百貨店への販売強化、③常設店の売上安定化と店舗の拡大、④直口座切替えによる利益率・回収率の向上、⑤オリジナル企画の展開を通じた新規百貨店の開拓、に注力して展開していく予定です。



「和装リサイクル催事企画」の取組み

当社の和装事業は、国内リサイクル会社と提携した「リサイクル催事企画」を、2019年1月より西日本を中心とした大手百貨店の催事場にて開始いたしました。

当企画の主旨は、使用済みの着物や帯等に補正・洗濯等を施したリユース品を販売することでの、取扱い高のアップ、滞留在庫消化の促進、新規取引先の開拓にあります。

上期は当社のプロデュースが功を奏し、実施拠点が計画より大幅にアップ、またリサイクル以外に在庫買取を実施して、収益率アップにつなげました。

既存アカウント先では呉服催事の縮小、販売機会の減少が相次いでおりますが、今後も、当社プロデュースのリサイクル催事を中心に展開し、在庫買取の継続実施と、国内リサイクル会社との共同開催によるスケールメリットを活かし、滞留在庫の削減と販売規模の拡大を推進していく予定です。



● 会社概要 (2019年9月30日現在)

会 社 名	堀田丸正株式会社
本 社 所 在 地	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号 TEL03-3548-8121 (代表)
設 立	1933年2月 (創業1861年)
上 場	1974年4月 (東京証券取引所 証券コード: 8105)
代 表 者	代表取締役社長 大西 雅美
事 業 内 容	和装品、宝飾品、和装小物等の卸売販売、 婦人洋品等の製造・卸売販売、寝装品等の 卸売販売及び意匠燃糸の製造・卸売販売、 横ニットの企画・卸売販売
従 業 員 数	連結 123名 単体 99名
資 本 金	2,937百万円
決 算 期	3月31日

● 役員一覧 (2019年9月30日現在)

代 表 取 締 役	大 西 雅 美
取 締 役	矢 部 和 秀
取 締 役	下 野 隆 充
社 外 取 締 役	小 島 茂
社 外 取 締 役	大 塚 一 暁
常 勤 監 査 役	丹 下 勝 視
社 外 監 査 役	水 野 孝 平
社 外 監 査 役	金 子 茂 男

● 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	60,000千株
発行済株式の総数	59,640千株 (自己株式3,395千株含む)
株 主 数	9,788名

● 大株主 (上位10名) の状況 (2019年9月30日現在)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
RIZAPグループ株式会社	35,000	62.23
株式会社ヤマノホールディングス	1,937	3.44
株式会社SBI証券	761	1.35
楽天証券株式会社	328	0.58
株式会社ヤマノネットワーク	230	0.41
松井証券株式会社	212	0.38
GMOクリック証券株式会社	203	0.36
山野愛子どろんこ美容株式会社	179	0.32
和田 修	174	0.31
飛田 常 司	167	0.30

(注) 1. 当社は、自己株式を3,395,925株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。
基 準 日	毎年次のとおりといたします。 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公 告 方 法	電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.pearly-marusho.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株 主 名 簿 管 理 人 及 び 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵 便 物 送 付 先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	☎0120-782-031

インターネット
ホームページURL

<http://www.pearly-marusho.co.jp/>